

県立病院施設

個別施設計画

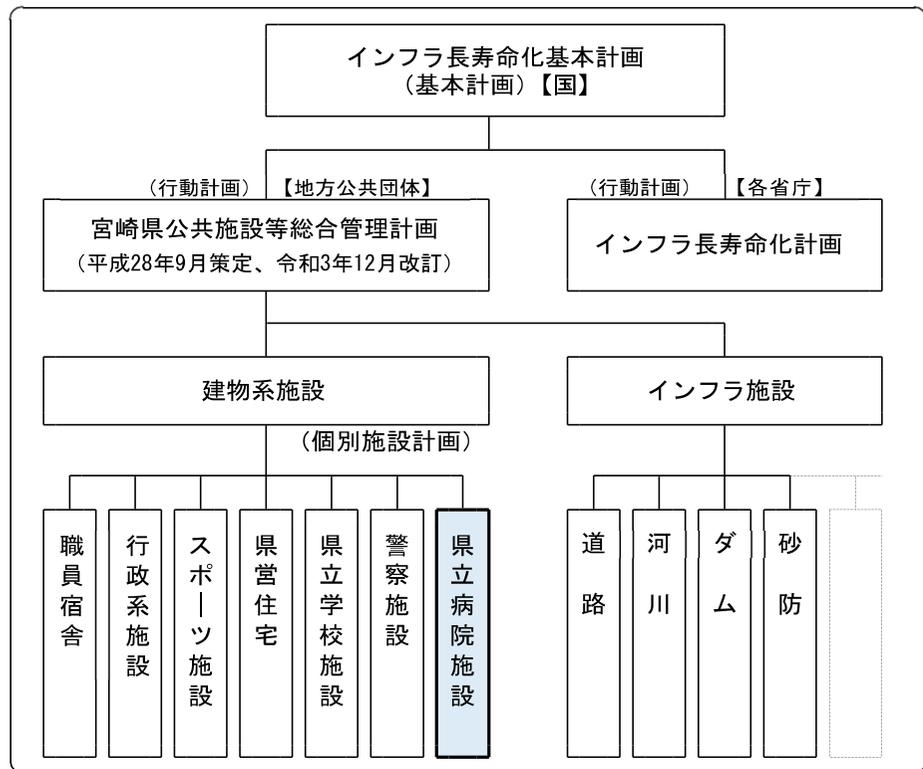
【概要版】

令和2年11月
(令和7年9月改訂)

第1章 計画策定の趣旨等

1 計画策定の趣旨

- 平成28年9月に策定（令和3年12月に改訂）した「宮崎県公共施設等総合管理計画」に基づき、県立病院施設の総合的・計画的な管理を進めるための具体的な取組を示す



2 計画期間

- 計画期間は10年間（令和8年度から令和17年度まで）
- 概ね5年ごとに見直しを行う

第2章 県立病院施設の現状と課題

1 県立病院施設の保有状況

施設	保有状況（令和7年4月末）		
	施設数	建物数	延床面積（㎡）
県立宮崎病院	1	12	60,239.75
県立日南病院	1	13	23,737.86
県立延岡病院	1	13	35,051.43
合計	3	38	119,029.04

2 老朽化の状況

- 令和7年3月末現在で、建設後30年を経過した建物の割合は1.4%
- 10年後には47.8%、20年後には53.5%

3 管理の状況

- 施設の管理は、施設を所管する管理者に委ねられ、施設ごとに管理者等が点検・修繕等の維持管理を行っている

4 課題

- 施設の点検・劣化状況等調査による状態把握
- 施設のメンテナンスサイクル構築による長寿命化
- 施設の最適配置・総量最適化及び修繕・更新等経費の平準化
- 健全な経営と良質で満足度の高い医療の安定的な供給
- 大規模な災害時に災害拠点病院として、必要な機能の維持
- 施設の温室効果ガス排出量の削減対策の推進

第3章 対策の優先順位の考え方

1 基本方針

- 適切な維持管理・修繕による長寿命化を図る
- 健全な経営と良質で満足度の高い医療の安定的な共有のため、設備リニューアルや改良工事を計画的に実施する
- 防災強化のための改修等を計画的に進める
- 省エネ化や再生可能エネルギー等の導入を進める

2 施設評価

- (1) 一次評価
施設ごとに築年数や利用状況等から施設の方向性を相対的に評価
- (2) 二次評価
今後の利用ニーズや地域における施設の必要性等もふまえ、建物ごとの長期的な方向性と今後10年間の対応方針を評価
 - ・「維持管理・修繕」：点検・調査、補修、修繕等を行い、施設を維持する
 - ・「改修」：耐震改修等の当初の効用が上回る対策を実施する
 - ・「更新」：同程度の機能に再整備する
 - ・「廃止」：用途廃止を行う

【今後10年間の対応方針】

施設	維持管理・修繕	改修	更新	廃止
県立宮崎病院	12	0	1	0
県立日南病院	13	0	2	0
県立延岡病院	13	0	1	0
合計	38	0	4	0

3 施設評価を踏まえた対応

- (1) 対策の優先順位
県民利用度の高い建物等の対策を優先的に実施する
- (2) 対策の内容
 - ・利用者の安全確保（外壁、空調等の落下防止など）
 - ・長寿命化（劣化状況等に応じた部位更新など）
 - ・大規模災害に備えた事前対策（浸水対策など）

第4章 個別施設の状態等

1 状態把握の手法

- ア 建築基準法に基づく定期点検
 - 建築物・・・・・・・・・・3年以内ごと
 - 建築設備・・・・・・・・・・1年以内ごと
- イ 劣化状況等調査・・・・・・・・3年以内ごと
- ウ 施設管理者による点検・・・・3年以内ごと

2 施設の健全度

健全度・・・建物の状態をあらわす指標

- A：良好である
- B：軽微な改善を要する。又は、引き続き観察を続ける
- C：劣化の度合いはそれほど高くないが、補修・改善等を要する
- D：劣化の度合いが高く、補修・改善等を要する

(単位：棟)

施設分類	A	B	C	D	合計
	75≦健全度≦100	50≦健全度<75	25≦健全度<50	0≦健全度<25	
県立宮崎病院	11	1	0	0	12
県立日南病院	8	2	3	0	13
県立延岡病院	8	3	1	1	13
合計	27	6	4	1	38
割合	71%	16%	11%	3%	100%

第5章 対策内容と実施時期

1 対策の内容

(1) 建物

- ・ 廃止予定：法定耐用年数目処に廃止
(例：鉄筋コンクリート造 39年)
- ・ 継続使用：目標使用年数目標に長寿命化
(例：鉄筋コンクリート造 51年)

(2) 部位

- ・ 耐用年数による更新を行い予防保全を実施
 - ア 建築：屋根 20年、外壁 30年
 - イ 電気設備：電力、通信・情報 20～30年、
避雷・屋外 30年
 - ウ 機械設備：給排水衛生、空調 20～30年

2 対策の実施時期

- ・ 建物ごとの二次評価、建物・部位の耐用年数及び劣化状況等を踏まえ対策の実施時期を設定

第6章 対策の費用

1 単純更新した場合の将来経費

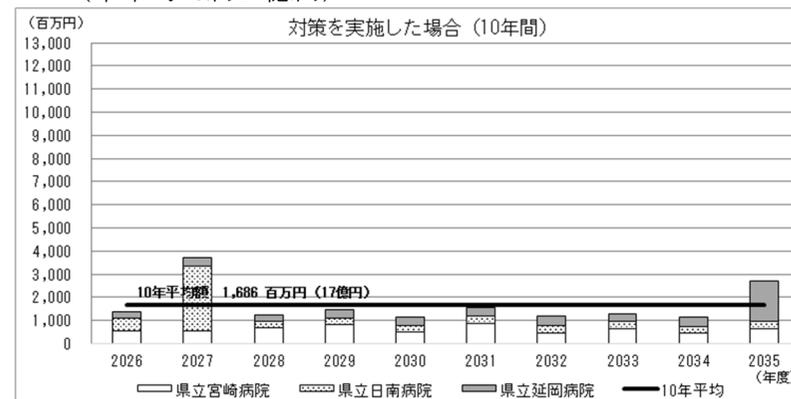
- ・ 今後10年間に全体で合計約252億円
(年平均で約25億円)



※金額は概算であり、予算が確定されるものではない (以下同じ)。

2 対策を実施した場合の将来経費

- ・ 今後10年間に県立病院施設全体で約169億円
(年平均で約17億円)



第7章 対策の効果

1 延床面積の縮減

- ・ 今後、県病院の需要や医療技術の発展を踏まえ、建替の際には規模の適正化を検討します

2 将来経費の平準化

- ・ 単純更新の場合：約252億円 (年平均約25億円)
- ・ 対策を実施した場合：約169億円 (年平均約17億円)

